都留一中ＰＴＡ新聞

校訓『勉学・勤労・規律』

瓦版 KAWARABAN

第２号
令和元年１２月１９日
発行責任者
２０１９年度広報委員会

ＰＴＡ会長あいさつ

ＰＴＡ会長　山口　晶之

令和元年度都留第一中学校ＰＴＡ活動も十一月で事業計画の約三分の二を終了することが出来ました。天候に恵まれずに中止となった事業もございます。しかし、これも皆様のご理解ご協力あってのことと思います。ありがとうございました。

　四月の定期総会にて承認を頂き、ＰＴＡ会長として様々な学校行事や会議等に参加させていただいております。

　九月十四日・十五日に行われたすみよし祭にＰＴＡとしてお手伝いをさせていただき、父兄としても恥ずかしながら初めて出席させていただきました。

　文化祭・体育祭両日共にしっかりと準備してきた事が伺える素晴らしい内容で、生徒達の頑張る姿に感動させられました。来賓で来られた市会議員の方からも「我々だけで観るのはもったいない。ケーブルテレビでも流してもらいたい程の素晴らしい内容でした。」と、お褒めの言葉を頂きました。また、演劇の指導をされた白須慶子様は、生徒達が一生懸命練習してきた事や自ら貪欲に学ぶ姿勢に感激され、涙ながらに見守っておられました。

　文化祭は来年度もうぐいすホールで開催予定とのことです。保護者の皆様方には、来年度も是非足を運んでいただければと思います。

　九月二十八日には都留市教育を語る会がありました。ＰＴＡ役員として参加いたしまして、都留市に都留第一中学校の要望等陳情報告をいたしました。

　十一月十二日には市役所にて『都留市義務教育振興に関する陳情書』『児童・生徒の通学の安全に関する陳情書』を、都留市内全小中学校の要望として都留市長に直接手渡しました。長期に渡る学校とＰＴＡのこの様な地道な活動で、今年度は都留第一中学校にエアコンが取付けられ、電子黒板が配備されました。生徒の通学の安全に関する陳情では、現在鍛冶屋坂付近で道路の拡張工事が行われております。

　今年度も残り数ケ月ですが、まだ多くの事業がございます。是非気軽に参加していただき、ＰＴＡ活動をもっと知っていただきたいと思います。

専門委員会委員長あいさつ

ボランティア委員会　小宮　昌巳

　今年も暑さを避け、早朝からの親子美化作業を実施しようと準備を進めてきました。しかし、中心部付近の目が大きく、離れたところの方が被害があるという特徴の台風一〇号の通過。これにより、グラウンドコンディションが悪く中止とせざるを得ませんでした。

　準備を進めていただきました先生方、担当の委員の皆様、道具の準備や予定の調整をしていただきました保護者の皆様、中止となってしまいましたが、心より感謝申し上げます。

　来年度は天候に恵まれ、親子美化作業が無事に実施できますことを願っております。引き続き、ご協力をお願い致します。

子どもたちに願うこと

一学年部会長　三枝　史政

　今年、あるサイトで「子供達に願うこと」のアンケートを取ったところ、八割以上の親が「失敗しても立ち直れて成長できること」、もしくは「自分の力で道を切り開けること」と回答したそうです。私たち親は、子どもたちには何でもいいのでチャレンジしてほしいと思っております。また、チャレンジの中で失敗や挫折をしても親として心配になるところを我慢し、信じて見守りたいと思っております。失敗を乗り越えて自分の力で前に進む勇気と決断力を持ってください。

　勉強ができる頭のいい子であればなお良いですが、それよりも何事にも積極的にチャレンジし、自分の進むべき道を見つけ、その道を切り開いていく、そうした強さを皆さんに身に付けてほしいと思います。

二学年部会長　小松　美恵

　寒さもいよいよ厳しくなってきた今日この頃、二学年も残すところ三ヶ月となりました。

　すみよし祭において、クラスで団結して取り組んでいる姿や、ムカデ競走で先にゴールしたクラスが他のクラスの応援をしている姿には感動を覚えました。行事をこなしていく中で、子供たちの団結する姿を見ることができ、成長を感じることができました。

　四月からは最高学年となり、新入生も入ってくる中でしっかりとした態度と責任ある行動ができるようになってほしいと思います。

三学年部会行事

三学年部会長　渡邊　勝太

　中学校生活も残りわずかとなり、日々勉強に勤しみ目標を掲げて頑張っていることと思います。

　特に高校入試説明会では、先生方からわかりやすい説明を受け、親子共々さらに身の引き締まる思いで、今後の受験の予定を注意深く聞き入れたことと思います。

　残りの中学校生活の思い出づくりもしつつ、春に新たな門出を快く迎えられるように一日一日を大事に過ごしてほしいです。

　また、寒さ厳しく乾燥しがちな季節です。風邪には十分に気をつけながら、うがいや手洗いを忘れずに生活していってほしいです。

　健康第一でこの冬を乗り越えていきましょう。

学年生徒会長より

一学年生徒会長　小林　優斗

　学年目標「一（はじめ）」。私たち一学年六十九名は、この学年目標のもと、都留一中での学校生活を送ってきました。

　前期の自然体験学習では、氷穴やコウモリ穴などに行き、自然にふれながら仲間との絆を深めることができました。また、初めてのすみよし祭では、取組期間から真剣に部門の活動をしたり、競技の練習をしたりする中で、仲間と協力する大切さを学びました。

　後期になってからは私たちの課題だった「二分前行動二分前着席」についての取組を学年で行い、学年全体で、時間と学習への意識を高めることができました。

　このように、私たちは入学してから今日に至るまで、様々なこと

を経験し，大きく成長できたと実感しています。
　来年度，私たちは進級し二年生になります。新たに後輩もできるので，私たちが先輩にしてもらって嬉しかったことを，今度は後輩に対して示していきたいです。お互いの良さを認め合い，苦労や困難があっても一学年一丸となり乗り越えていきたいです。

二学年生徒会長　中村　宗斗

　私たち二学年は，中堅学年として一・三学年をサポートする努力ができたと思います。
　例えば，今年度のすみよし祭は「変わらないために変わり続ける」という考えのもと，様々なものが変化していきました。そのため，二年目の私たちにもわからないことがありましたが，後輩にアドバイスすることができ，先輩の活動を支えることで，すみよし祭の成功に貢献することができたと思います。
　また，学年全体の成長として，時間意識の改善ができてきました。ついこの前までは意識がとても低く，全校の取組でも，二年生だけが迷惑をかけていました。だから，その取組後も，二年独自で継続し，学年生徒会や学級役員，班長達の努力もあり，一人一人の時間に対する意識を高めることができたと感じています。
　私たち二年生は，先輩方からのバトンを受け継ぎ，最高学年としてさらに成長できるようにしていきたいです。

三学年生徒会長　宮下　勇斗

　私たち三学年の学年目標は，「超越」です。これは，二年次までに自分たちが創り上げてきた「学年の良さ」「学年の自信」をさらに高め合える集団を目指したい，自分たちの可能性を伸ばし続けたいという思いからこの目標を掲げました。
　私たちは，これまで時間への意識が低いことが課題でしたが，学年生徒会を中心に，修学旅行の取組，さらに，受験に向かう姿勢を全員でつくる三分前着席，二分前学習の取組を通して，一人一人が時間を大切にできる集団へ成長することができました。今では二分前には廊下にいる生徒は一人もいません。
　そして，生徒会最大行事すみよし祭では，最高学年として全校，学年を引っ張るリーダーとしてさらに質の高い集団へ成長できたと思います。
　私たちが都留一中で過ごせるのも残り三ヶ月です。最後の最後まで，この学年の一員であることを「誇り」に，さらに集団として「超越」できるように，挑戦し続けたいと思います。

繋ぐ伝統

生徒会長　髙野　太輔

　私たち生徒会は，「一中改新」をスローガンに掲げ，全校生徒一丸となって生徒会活動に邁進してきました。これからの一中は，生徒数も減少し，様々な活動に制限が出てくると思います。そのような状況でも先輩方が残してくれた伝統を引き継ぐために，「変わらないために変わり続ける」ということを意識して活動してきました。変えられない現実に目を向け，今の私たちのことだけを考えるのではなく，十年，五十年，百年と，私たちの愛する母校を残すために，今が変えるチャンスと捉え，様々なことを変えてきました。
　特に変わったのがすみよし祭です。「駆けろ～新しい時代の幕開けとともに～」のテーマのもと，文化の部のうぐいすホールでの実施，体育の部の三ブロック制での実施，全校ソーランの実施と三つのことを変えました。今までとは全く違う体制になったことにより，取り組み期間は想像を絶する過酷なものでした。加えて，部門の厳選などもあり，一人一人にかかる負担も大きく，みんな大変な思いをしたと思います。しかし，そんな中でも全校生徒全員が生徒会執行部に協力してくれました。暑い中の練習も一生懸命に取り組み，各クラス各学年，各ブロックで団結し，文化の部・体育の部共に熱く駆け抜け，感動に包まれるものを創り上げることができました。初めての試みで，不安が大きかった全校ソーランも非常に迫力があるものに仕上がり，満足の行くものになりました。新たな伝統の一ページを刻むことができたすみよし祭でした。
　伝統を繋ぐということは簡単なことではありません。それに，単に伝統を繋ぐのではなく，自分たちの色も出していかなければなりません。大変ではありますが，全校生徒はいつでも生徒会役員を信じ，ついてきてくれます。今年度生徒会長を務め，それを強く感じることができました。だから，新生徒会の皆さんも今までの伝統を繋ぎ，自分達の新たな伝統を築き上げられるようにがんばってください。

令和二年度生徒会長　有川　駿佑

　私は，選挙で“日常生活を磨き上げる”という意味の「事上磨錬」をスローガンに掲げました。マニフェストは二つです。
　一つ目は「日常生活を磨く」。一中では，日常生活において当たり前のことを当たり前にできる学校を目指しています。そこで私は，質の高いあいさつと無言集合に力を入れようと考えました。質の高いあいさつの条件として「大きな声でできること」「相手の目を見てできること」「しっかりお辞儀ができること」。この三つが定着できる取組を行っていこうと考えています。また，無言集合は，傾聴の雰囲気づくりを徹底できる取組を行っていきたいと思います。
　二つ目は，「伝統を磨く」。受け継がれてきた一中の伝統をしっかり引き継ぎ，磨き上げていきます。今年度，三年生の先輩方が「変わらないために変わり続ける」のもと，新たに挑戦した全校ソーラン。先輩方の残してくださったものをさらに磨き上げ，伝統にできる取組を行っていきたいと思っています。
　私は，このマニフェストをもとに，一年間頑張っていきます。しかし，これらのことは，私一人や生徒会役員だけでは成し遂げられません。皆さんの力が必要です。来年度の都留一中を，より良くするために，ご協力をよろしくお願いします。

編集後記

　二学期はさまざまな行事がありました。その分，子どもたちの成長には，感慨もひとしおです。
　今回も原稿の依頼をさせて頂きました皆様方には，お忙しい中快く承諾して頂きました。心より感謝申し上げます。今年も残り僅かですが，お身体には充分に気をつけて新しい年を迎えられますよう，心からお祈り申し上げます。

委員長　石井　智
副委員長　森屋　三恵
委員　相川　京子
　　　小田　裕香
　　　陳　聞禹
　　　酒井　淳
　　　富田　寿美江
　　　堀内　夏江

担当教諭　高村　江里子
　　　　　原田　美貴
　　　　　上杉　弥生
　　　　　分部　茜
　　　　　砂田　翔子